

東京都公民館連絡協議会職員部会 第6回（報告）

1 日時 平成30年10月17日（水）午後2時から4時10分

2 場所 小平市中央公民館 学習室1

3 出席者：小平（武井、寺本）、日野（佐藤）、国分寺（南波）、国立（松田）、西東京（三城）、福生（松浦）、狛江（内田）、東大和（宮鍋）、昭島（梶芳）、小金井（小磯）、伊東顧問

4 内容

（1）事務局より

- ・職員部会ニュースコラム担当順番について

10・11月号 狛江市、東大和市 11/24（土）原稿締切

12・1月号 昭島市、町田市 1/26（土）原稿締切

- ・第2回、第3回東京都公民館連絡協議会役員会の報告

役員会では以下の報告があった。

①第40回全国公民館研究集会東京大会について

②全公連職員表彰式表彰者について

③2019 年栃木県にて行われる第 59 回関東甲信越静公民館研究大会について

④委員部会、館長部会、職員部会、研修担当、研究大会について

また、都公連非加盟市の研修参加費の取り扱いについて協議された。

次年度の東京都公民館研究大会は昭島市が事務局となる。課題別集会の担当市については継続協議となった。

- ・東京都公民館研究大会第3回、第4回企画委員会の報告

開催要項（案）について。基調講演は牧野氏に依頼。

助言者等の謝礼は支給基準に基づき、支払う。

会場については申込状況を見て、割り振る。

紙や筆記用具などは活動費として請求する。

（2）協議事項に関して

- ・職員部会研修会の反省（振り返り、アンケート集計報告など）

9月に無事に職員部会研修会を開催した。アンケートは参加者42名中、39枚回収でき、回収率が高かった。経験の浅い方（3年未満）の参加が多かった。講師の話を聞くため、参加した方も何名もいた。

満足度に関しては、非常に高かった。ただし、時間が足りなかったという意見が多くあった。

今後もより多くの自治体と、より多くの研修会で関わりたいとの意見があった。

（それぞれの感想・反省）

- ・グループワークに関しては、一人ひとり時間を区切って行うときは良かったが、

区切らず行ったときのファシリテートが難しく、特定の人が多く話して話をできない人がいた。少ない人数だったから良かったが、研究大会では、人数が増え、また、職員以外の方も参加するため、より難しくなってしまうだろう。1回も話さない人がでないように進めることが大切である。

- ・市民は何層もあることを学んだので、公民館にどのように人を集めるかを考える際、公民館に関心がない人たちをどうするかより、関心がある人にどうアプローチするか考えていきたい。反省としては、あまり積極的に行動できなかったもので、講師とタイムスケジュールを確認しておけばよかった。

- ・講師は現場にいる方なので、職員のみを対象にした研修としては良かった。研究大会では一般の人も参加するので、今回の議論をどの程度踏まえて次回に臨むのか検討する必要がある。

- ・グループワーク中心だったので、もう少し（30分程度）長ければ、核心をつけたのではないかな。グループワークの中でも自分の市で参考にできる情報が多くあった。

- ・同じグループには1年未満の方が多かったため、話をして練る、というところまでいけなかった。公民館以外の職員の話も聞けて参考になった。

- ・実務に即した内容が聞けた。人数のハードルを下げて人を集めるという視点を持てた。

- ・アンケートの満足度がとても高く、驚いた。講師のおかげなのか、対象が職員のみだったから話しやすかったからなのか……。研究大会では職員だけではないので、今回満足度が高かった方の満足度をキープできる内容にしたい。また、「職員部会に望むこと」への意見も大切にしたい。職員のために何かできることを話し合う場にしたい。

- ・普段公民館に通っている方を含め、市民を7つの層に分けることにしっくりきた。あらためてどの層にアプローチするのか考えるきっかけになった。講師のファシリテートについても見習う部分が多くあった。

- ・グループワークでは講座参加者を1人増やすためにここまでやっているのか、と知ることができた。

- ・講師は進め方が非常にうまく、参加者からの意見も冷静に分析していた。最後の講師のまとめに対する時間が足りなかった。

- ・グループ編成を経験年数で分けられれば良かった。ホワイトボードの用意など事前に講師と綿密な打合せが必要であった。

（伊東顧問より）

講師は研究領域が広く、職員としての資質がかなり備わっているため、様々な角度から物事を見ることができる。職員として目標にすべき人である。今後、井口さんに個別的に相談しても良い。また、様々な公民館に足を運んで先輩職員に話を聞きに行くことも良い勉強になる。昔に比べ、今の職員は多様なことをやらされているためそんな時間がないかもしれないと思うが……。

今回のグループワークでも他市から学ぶことが多かったように、自分の市だけでなく、他市で学ぶことをお勧めしたい。聞かないで失敗するより、聞いて失敗した方が良い。

アンケートについては満足度がこんなに高いなんて不思議。人それぞれ課題は違うはずだから、講師1人の話を聞くだけで、こんなに高い数値は出ない。だが悪いことではない。

- ・東京都公民館研究大会課題別集会について（内容、進め方など）
開催内容、氏名等について修正がないか、確認

（事例報告について）

職員部会の中で意見を交換しながら発表内容を検討していきたい。

以下、事例発表担当市の現状について

（小平市：事業企画委員会について）

全11館にて、平成26～29年度に立ち上げた。以前は市民の意見も取り入れながら、職員が講座を企画していたが、地域のコミュニティづくりの拠点となるために事業企画委員会を設置した。

今回話してもらう内容は委員長が公民館に関わるきっかけや実際企画してみたの感想を話してもらう。また、職員からは委員会の運営の話や、職員が企画したものとの違いを話す予定。機会があれば1月頃に職員部会内で発表していただく。

（国分寺市：職員との関わり方）

祭りの実行委員長も務めており、公民館全体に関わっている方なので、どういふふうに職員を見ているか、職員に対する期待などについて話してもらう予定。

（伊東顧問より）

事業企画委員の方は市民と職員がそれぞれ果たす役割について事業企画委員会に参加する市民という視点で、職員論や事業論、それぞれの果たす役割を話してもらえるのか。それに対して職員も職員から見た職員論や事業論などを話すのか。市民と職員がバラバラな話をしないように注意。

事業企画委員の役割がどこまでなのか、話してもらいたい。委員からは職員と協働したからこんな展開ができたとか自分たちではできない新たなネットワークが作れたという話をしてもらいたい。小平市の話す内容によって、国分寺市の話す内容も変わってくる。

市民と職員が関わってプラスの相互作用について話してほしい。お互いの力を出し合って、広がりのある事業ができるんだということを参加者には持ち帰ってほしい。どこを協働しているのかははっきりさせること。

（検討）

- ・1月に実際に事例報告者によるリハーサルを実施したい。
- ・小平市は講座を組み立てることの話、国分寺市ではどんなきっかけで公民館に引き込まれていったかを一市民として話してもらうのはどうか。

※ 次回までに事例報告者に聞きたいことを考えておくこと

（3）各市からの報告事項

- ・ニュースコラム紹介（国分寺市、国立市、西東京市、福生市）
- ・日野市より別紙の講座チラシを各施設に置いてPRしてほしい。

【次回開催日】11月21日（水）午後2時から 場所 小平市中央公民館